



大林道路株式会社

CSR報告書 2013



企業理念

～大林道路からのお約束～

3つのテーマからなる、大林道路の企業理念を紹介します。

豊かな生活環境の創造に向けて

社会基盤、産業基盤、生活基盤等において、安全で、快適で豊かな環境を創造し、サービスを提供することにより、人々に真の満足を与え、生活の向上と社会の発展に貢献します。

地域社会と共に歩み

企業行動を営むそれぞれの地域社会において、事業を通じ、また、その地域の一員として溶け込み、地域社会の発展に尽くします。

人間尊重の経営を行います

従業員一人ひとりの個性を生かし、誇りと働きがい、生きがいのある場を提供し、また、当社と関係のある全ての人々が幸せとなることを願い行動します。

経営規範

1. 人々の期待に応え、時代を先取りした技術力により、新たな価値を創ります。

人々（社会）の要請・期待に応えることを目指し、時代の先を読んだ創造性あふれる技術開発によって、顧客が満足する新たな価値あるものをつくり、顧客の高い信頼と社会的評価を得るよう努めます。

2. 創造力豊かな人を育て、柔軟な組織のもとで、生き生きとした職場を創ります。

個性を尊重し、創造力を育て、能力を発揮しやすい組織及び能力ある人に報いる制度を築き、従業員が生き生きとして活躍できる「信頼と協調の風土」や創造への挑戦の気風に満ちた「闊達な職場風土」をつくりあげるとともに、安全対策の強化・充実に努めます。

3. 良き企業市民として、社会と文化の発展に寄与します。

環境保全に配慮し、地域社会との良好な関係を構築し積極的な社会貢献の推進を図るとともに、公正で自由な競争と適正な事業活動を推進し、地域社会への貢献と文化の発展に寄与します。また、協力会社との公正で透明な契約の締結及び役割の明確化を図り、合理的な施工・製造システムを確立します。

Contents —目次—

企業理念／経営規範／目次／編集方針	1
トップコミットメント／CSR推進の枠組み	3
コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス	5

Topics

災害復旧工事 東日本大震災復興への取り組み	7
海外工事	9
アスファルトプラント	10

豊かな生活環境の創造に向けて

良質な工事・製品の提供	11
価値ある情報の提供	14

地域社会と共に歩み

地域住民との良好な関係の構築	15
地球環境への配慮	17

人間尊重の経営を行います

安全衛生方針	19
人材育成・人事制度	20

大林道路の事業	21
---------	----

編集方針

大林道路は、2009年から社会的責任の取り組みや考え方をより多くのステークホルダーの皆さまにご理解をいただくため、CSR報告書を毎年発行しています。

報告内容は、左記に示した企業理念の項目に沿った形で内容を構成し、トップメッセージ、2012年度の活動など重要度が高いと考えた項目をできるだけわかりやすくお伝えできるよう心がけ、編集しています。

- 対象組織 大林道路株式会社
- 対象期間 2012年度（2012年4月1日から2013年3月31日まで。一部それ以前からの取り組みや2013年度の活動も掲載）

- 発行時期 2013年10月
（前回 2012年10月発行
次回 2014年10月発行予定）
- 作成部署 CSR報告書作成委員会
- お問い合わせ先
大林道路株式会社 本店総務部 総務課
〒131-8540 東京都墨田区堤通1-19-9
リバーサイド隅田セントラルタワー 5階
TEL：03-3618-6500
FAX：03-3618-6597

トップコミットメント

皆様の安心・安全を確保し、 信頼される会社であり続けます。

当社は常に企業理念を念頭において行動し、社会的な責任を果たしていくことがCSR活動の根幹であり、ステークホルダーである皆さまに対し誠意ある企業活動を行う第一歩と考えています。

東日本大震災からのさらなる復興にむけ、昨年度は岩手県の釜石地区のアスファルト合材製造プラントを建替えました。今年度は田野畑地区に製造プラントを新設し、地域の交通インフラの整備に貢献できる体制を整えました。

これからも大林道路は、環境保全や地球温暖化対策など皆様の生活環境をより良いものとする技術の開発に挑戦し、「豊かな生活環境の創造」、「地域社会との共存」、「人間尊重の経営」の企業理念のもと、国土整備を担っていく所存でございます。

これらCSRの考え方や目指すべく方向について、その活動内容を取りまとめました。当社のCSR活動についてご理解いただき、あわせて忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

2013年10月



代表取締役社長
長谷川 仁



釜石大槌アスコン
岩手県上閉伊郡大槌町
2011年10月操業



三陸アスコン
岩手県下閉伊郡田野畑村
2013年5月操業

CSR推進の枠組み

大林道路のCSRは、企業理念を常に念頭に置き「豊かな生活環境の創造」「地域社会との共生」「人間尊重の経営」の実現を目指すことです。

大林道路のCSR活動に必要な第一歩とは「ステークホルダーに対する誠意ある企業活動」と考えています。大林道路のCSR活動はコンプライアンスを基本とし、これまでの企業活動に加えて説明責任や情報開示を企業自らの意思で行い、地域社会への積極的な働きかけを行うことが大切であると考えています。



経営の透明性、健全性を高めるために

コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスを基盤とする経営を行っています。

コーポレート・ガバナンス体制

大林道路は、コーポレート・ガバナンスを通じて内部統制していくことがコンプライアンス経営の根幹であり、健全な企業として発展していく上で不可欠な要素であると考えています。

その考えのもと、事業活動に対する説明責任や経営の健全性、効率性および透明性の向上をめざして、また正しい経営判断を行い、実行できるよう取締役会、経営会議、企業倫理委員会などで十分審議し、適宜、監査役会に報告し、適切な監査を受けています。

また、企業会計については、独立の立場である会計監査人から監査を受けています。

内部統制体制／コンプライアンス

- 企業倫理綱領行動基準（2002年制定）において「反社会的勢力との関係遮断」を定めており、従業員研修などの場での反復教育・指導により周知徹底を図っています。
- 企業倫理遵守のための基本方針を策定し、定期的に企業倫理委員会を開催することで、企業倫理遵守の徹底を図っています。2012年度は、8回の委員会を開催しました。
- 経営の健全化を目的として、内部通報制度を設けています。通報内容については、直ちにその事実関係を調査し必要な処置をとっています。
- 内部監査担当部署による各部門の業務執行状況、コンプライアンスおよび財務報告に係わる内部統制システムの監査を定期的実施しています。2012年度は、全店において実地監査を行いました。

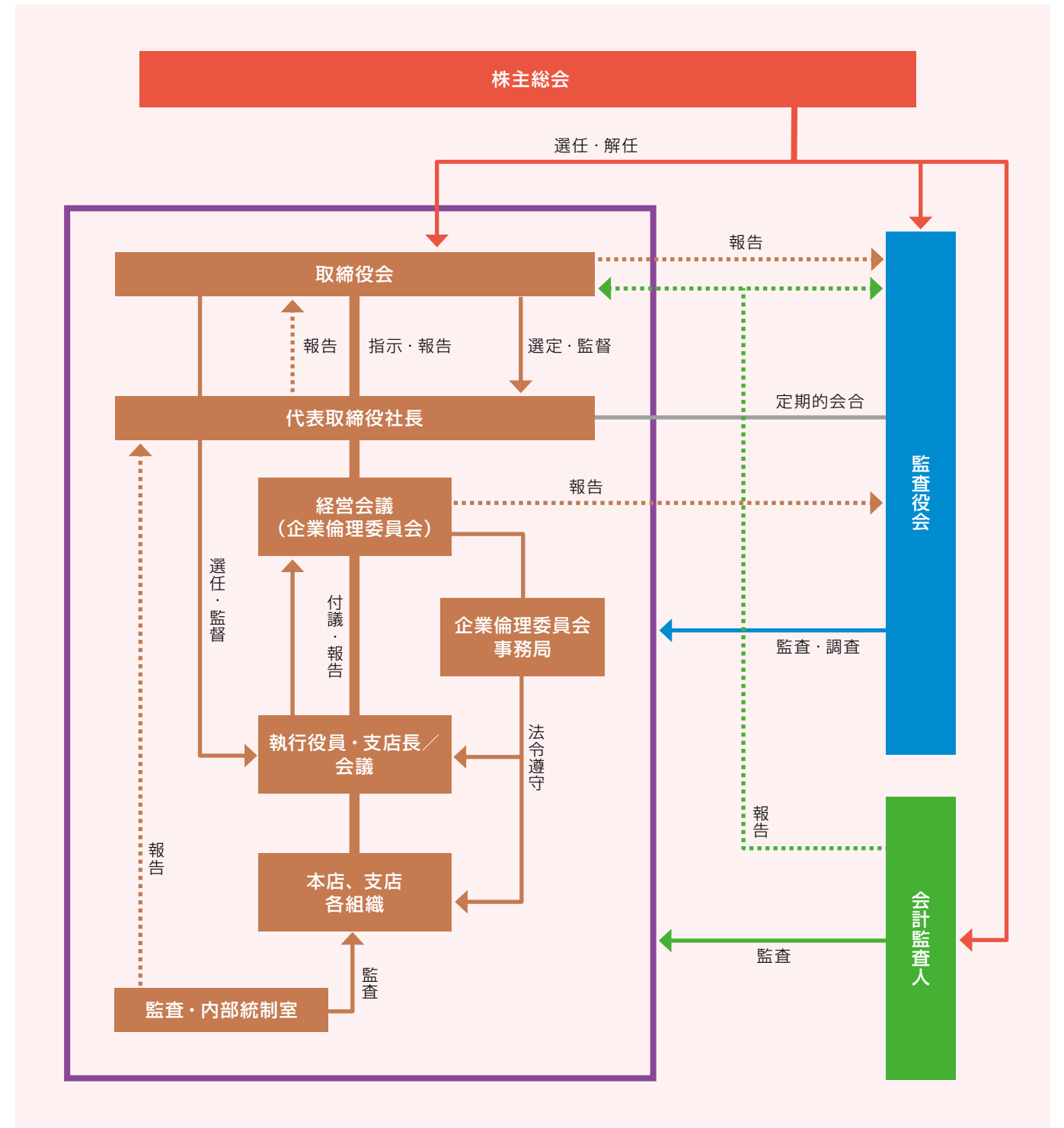
危機管理体制

- 危機管理対策規程を整備、運用し、危機を未然に防ぐとともに、万一発生した場合にも迅速かつ適切な対応ができるよう対策をとっています。
- BCP（事業継続計画）を策定し、自然災害など予期せぬ事態が発生した時にも事業が継続できるよう対策をとっており、お客様や地域住民への復旧支援、災害対応を実施できる体制をとっています。

情報管理体制

- 情報資産のセキュリティに関する基本方針を定め、緊急事態の発生に備えた予防対策を講じています。また、セキュリティ教育、不適切ソフトの調査、設問形式による従業員へのアンケート実施など、随時啓蒙活動を行っています。
- 個人情報取扱規程を整備、運用し、個人情報を適正に取り扱っています。
- 経営の重要事実に関して情報管理を行い、不正な取引が行われぬようインサイダー取引防止規程を整備、運用しています。

コーポレート・ガバナンス体制図



災害復旧工事

東日本大震災復興への取り組み

東北の完全復興を目指して

東北支店 工事部長
中上 記章

東日本大震災直後の応急復旧工事に始まり、高速道路の本復旧工事、岩手・宮城の沿岸部の復旧工事、福島第一原発事故に伴う指定廃棄物の仮置き場整備工事の施工をしてきました。工事を取り巻く環境の変化に対応し、職員と協力業者全員が協力しあい作業を進めてきました。今後も引き続き東北の完全復興を目指して事業に取り組んでいきます。

発注者：環境省

工事名：平成24年度楢葉町警戒区域見直しに伴う廃棄物仮置場（館ノ沢）整備工事



佐藤 和之

復興を成し遂げる過程で、家庭から排出された一般廃棄物を、仮置きするための敷地を造成する工事です。一般廃棄物が搬入されながらの施工となり、工区を分けて施工することにより、一般廃棄物の置き場を確保しつつ、無事に完成することができました。復興に必要な工事に貢献できたことを誇りに思います。

発注者：環境省

工事名：平成24年度東日本大震災により生じた対策地域内廃棄物の国直轄処理業務（楢葉町前原）における災害廃棄物仮置き場整備工事



田村 昌之

東日本大震災の津波によるガレキを仮置きするための敷地造成工事です。造成地は海に近いため、止水に苦労しました。また津波の影響で絶滅危惧植物（ミズアオイ）が植生し、その調査のために工期延期を余儀なくされましたが、皆様の協力を得て無事に完成することができました。この工事を行うことにより災害復旧に貢献できて良かったです。

発注者：(株)大林組

工事名：原町火力発電所 サービスビル正面外構復旧工事



訓覇 観

被災した南相馬市の原町火力発電所、構内道路施設の復旧工事です。被災により原子力発電が不能になったため、火力発電の需要が高まり早期復旧が求められました。工程は非常に厳しいものとなりましたが、早期復旧を目標に、現場全員が心一つにして工事を行い、無事に完成することができました。

発注者：宮城県

工事名：平成24年度311地震災1245-A01号 手樽(1)外道路災害復旧工事



勝山 正男

日本三景である松島での道路復旧工事です。舗装工事だけでなく、崩壊した法面をブロック積にて復旧する工事があり、難易度の高い工事でした。観光地のため、道路の一部を供用しながら施工しなければならず、第三者への安全確保を最重点目標とし、日々の現場管理を行いました。

発注者：東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）

工事名：磐越自動車道 郡山管内（下り線）舗装災害復旧工事



末安 健二



東日本大震災で被災した磐越自動車道郡山管内の舗装復旧工事です。早期復旧が目標のため、工程調整・資機材の調達が非常に厳しいものとなりました。また、安全面では一般車両の事故が懸念され、現場担当が一丸となって事故防止対策を工夫し、無事に工事を完成することができました。最後に福島で震災復興に貢献できたことをうれしく思います。

発注者：宮城県

工事名：平成24年度県港施災23101-005号 中島埠頭荷捌地外災害復旧工事



白幡 弘満

東日本大震災で被災し沈下した岸壁を約1m高上げるため、背後地である荷捌地の高上げを行う工事です。当初設計から工事量が大幅に増加し、被災地での資機材の調達が難しく非常に厳しい工程となりました。このため下層路盤材は川崎より船舶輸送により納入し、アスファルト舗装は出荷数量を確保できる夜間で施工し、無事に完成となりました。

発注者：東亜建設工業株式会社

工事名：宮古港鵜崎地区-5.0m岸壁外（災害復旧）工事のうち舗装工事



情野 拓也

東日本大震災で被災した岸壁を撤去し、80cm程度高上げる工事です。宮古湾での漁港の工事であり、水揚げに影響を与えないように工事を進める必要がありました。使用する生コンクリートの確保が困難で、工程は厳しいものとなりましたが、関係者の協力を得て無事に完成することができました。完成の際は、地元漁業組合から感謝していただき、復興工事へ携わることができたことを誇りに思っています。



発注者：東日本高速道路株式会社（NEXCO東日本）

工事名：東北自動車道 白河～本宮間舗装補修工事



佐竹 良一

平成22年7月に契約した工事で、既済検査直前に東日本大震災が発生し、工事の一部が中止となり、応急復旧工事の対応をすることになりました。その後は本工事へ移行しましたが工事内容が災害復旧工事として大幅に変更となり、追加工種が多くありましたが、担当者全員が一丸となり無事に工事を完了することができました。貴重な経験と福島での復旧工事に携わることができ、うれしく思います。

発注者：宮城県

工事名：平成23年度県港施災23101-008号 潮見埠頭荷捌地外災害復旧工事



菊池 太

東日本大震災で被災し沈下した岸壁を約1m高上げるのに伴い、背後地である荷捌地の高上げを行う工事です。中島埠頭荷外工事と同じ時期での施工となり、工程調整・資機材の調達が非常に厳しいものがありましたが、支店・営業所の協力があり、無事に工事を完成することができました。

海外工事

ラオス国道9号線 海外での道路工事にJVの構成会社として参加しています

平成24年度に(株)大林組・大林道路(株)JVとしてラオス国道9号線(メコン地域東西経済回廊)整備工事を受注し、現在も施工中です。この道路は東南アジア地域の重要幹線道路であり、道路整備に対する周辺地域の期待も大きく、その期待に応えられるよう全力で取り組んでいます。



着工前状況



路盤施工状況



舗装施工状況



砕石工場



アスファルトプラント

概要

- **工事名:** ラオス国道9号線(メコン地域東西経済回廊)整備工事
- **工期:** 2012年4月26日~2015年3月31日
- **工事場所:** ラオス人民民主共和国 サバネケット県
- **工事概要:** 2000~2002年に無償援助案件として改修された国道9号線(約133km区間)のうち、損傷区間の改修工事(工事延長58.1km)である。
- **既設舗装撤去/新規路盤/舗装** L=49.085km
- **再利用路盤/舗装** L=8.750km
- **コンクリート舗装** L=0.265km
- **排水工事** L=101.800km
- **付帯工事** 1式

現地担当者の声



北嶋 義雄



丸山 敦裕

現地に赴任した当初は基層工の始まりでした。撤去工、路盤工、排水工は施工が進められていたものの、慣れない作業のため進捗はよくありませんでしたが、現地国の協力会社も徐々に作業のコツがみ進捗が上がり始めています。

この工事では日本国内での工事とは違い、現地にてボーリング調査を実施し、そ

の結果を基に採石場を選定します。その採石場で砕石・骨材を自ら製造し、その品質管理も同時に行い、路盤材やアスファルト舗装用の骨材に使用しています。

また、施工場所では現場施工管理を行えるよう現地スタッフに指導することが我々の業務ですので、英語や片言の現地語を使用してコミュニケーションをとることが非常に大切だと感じています。

現況の道路はひどく損傷しており一般車両の走行に支障をきたしていますので、地元住民や道路の利用者が一日でも早く、安全で快適に走行できるように、工事を進めていきたいと思ひます。

(丸山)

アスファルトプラント

中国支店 広島アスファルト混合所 最新鋭の都市型アスファルトプラントとして 操業を開始しました

コンピュータ制御による徹底した稼働管理を行っている他、臭気を高温で燃焼させて脱臭処理をする装置や、騒音・粉塵を最小限に抑える最新の設備を導入した無公害型「都市型プラント」です。

動力にもクリーンエネルギーである都市ガスを使用し、さらに太陽光発電システムやLED照明を採用することで、地球温暖化防止に貢献します。

また、当社工法の「地下貯水システム」を導入し、雨水を地下に貯留して流出を抑制します。貯留した雨水は事務所内のトイレ用水などに使用し、水資源の保護と有効活用を実現しています。

2014年には中間処理施設の操業を開始し、資源循環型社会の構築を目指します。

施設概要

- **所在地:** 広島市佐伯区五日市港2-3-7
- **プラント能力:** アスファルト混合物 80t/h
再生アスファルト混合物 60t/h
- **合材サイロ:** 120t 1基 100t 1基
- **操業開始日:** 平成24年11月15日



コンピュータ制御による出荷管理



太陽光発電パネルの設置



豊かな生活環境の創造に向けて

良質な工事・製品の提供

方針に基づき、ニーズに応じた高い品質を確保します

大林道路の品質の維持・向上への取り組みと、安全・安心な環境の創造に資する技術を紹介します。

品質方針

私達は確かなものづくりにより顧客・社会からの信頼に応えます。

- ①顧客・社会からの要求に対する迅速な対応
- ②人材育成及び業務の継続的改善に努め確かな技術を製品に反映

施工技術発表会

各現場で考え取りこまれた施工技術や最新情報などを水平展開し、全店の技術レベルを向上させるため、11月6日に墨田区曳舟文化センターにおいて、第22回（平成24年度）施工技術発表会を開催しました。



「我 先駆ける」をメインテーマとして、14名が15分間ずつ発表を行ったほか、ポスターセッションによる技術開発報告会も併せて開催しました。



製品担当者研修会

アスファルト混合所に従事する品質管理担当者を対象とした製品担当者研修会を実施しています。研修計画に基づいた講義や実習試験を通して、品質管理の基本から最新試験や方法まで、最新情報に合わせたニーズを吸収し、業務に必要な豊富な知識と技術を持った人材の育成を目指しています。また、職員同士の交流の場となるとともに、お互いに刺激を受け切磋琢磨する有意義な研修会です。



iCE STOPPER (アイストッパー) ～粗面型ゴム粒子入り凍結抑制舗装～

当社のゴム粒子入り凍結抑制舗装工法には、密粒ギャップ混合型の「ルビット舗装」、ポーラス混合型の「オークサイレント」および表面処理型の「RAペーパー」があります。

舗装表面のゴム粒子が交通荷重によりたわむことで雪氷が破碎・除去され、路面露出が促進されるのが特長です。

そして、これらの工法を砕石マスチック混合物（粗面型）に応用したものが『iCE STOPPER アイストッパー』です。



特長

- ①凍結抑制効果
 - ・ゴム粒子により雪氷を破碎・除去します。
- ②走行安全性
 - ・表面のきめ深さにより、路面水膜の発生を防止します。
- ③耐久性
 - ・骨材飛散抵抗性、耐流動性および耐水性が向上します。
- ④施工の容易さ
 - ・混合物の製造・運搬は、ゴム粒子の混合以外、
- ⑤低騒音
 - ・きめ深さ、ゴム粒子により低騒音効果を発揮します。
- ⑥副次効果
 - ・路面凹部により凍結防止剤の残留効果の向上します。
 - ・空隙づまりによる透水性低下を減少します。

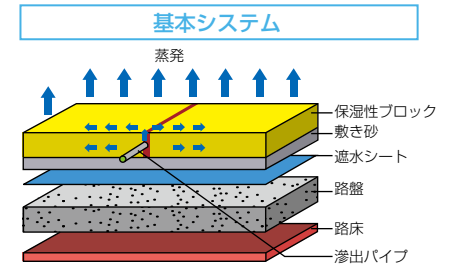
通常のアスファルト舗装と同様です。
 ・専用のゴムチップスプレッダを使用する以外、一般的な舗装機械で施工が可能です。



メチカラペーパー ～湿潤舗装システム～

都市部のヒートアイランド現象を抑制するためのシステムで、夏季における都市の温度を積極的に冷却するための歩行者系道路の舗装技術です。また、地球温暖化に対応する熱環境対策工法のひとつにもなっています。

地中より水を毛細管現象によって吸い上げ、舗装の表面を湿潤し、本来の打水や散水とは異なり、過剰な水を与える心配がなく冷却効果を発揮できます。



特長

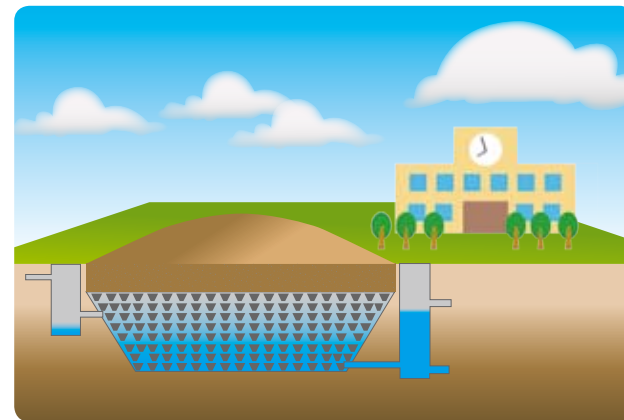
- ①夏季、晴天日の路面最高温度を新設のアスファルト舗装と比較して10～20℃程度低下します。
- ②路面温度の上昇抑制機能は、晴天日が連続しても継続します。
- ③幅20mmの広めの目地がブロック舗装のアクセントとなります。
- ④コンクリートブロックを使用する比較的リーズナブルなシステムです。



良質な工事・製品の提供

地下貯水工法

地下貯水工法は、雨水を地下に貯留し、排水路への流出を抑制するとともに、貯留した水を植栽の灌水などに有効に活用する工法です。地中に砕石やプラスチック滞水材などの中詰め材を充填し、その空隙に貯水するシステムです。



流出抑制

雨水利用

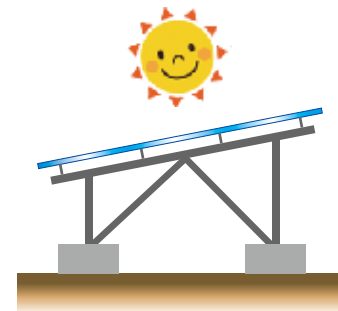
災害対策

メガソーラー



極東開発工業株式会社福岡工場発電所 (福岡県)

太陽光発電設備概要図



太陽光発電の足下を支える仕事もしています。コンクリート基礎も杭基礎も、現場にあわせた設計・施工が可能です。



坂出ソーラーウェイ (香川県)

価値ある情報の提供

お客様にご満足いただくために

大林道路はさまざまな機会を通じて、「価値ある情報」を提供しています。

2012年展示会参加状況

全国でさまざまな展示会に参加しています。地域にあった工法や、新しい技術の紹介をパネルや模型を使って展示しています。

建設技術展示館

関東地方整備局
関東技術事務所内
2011/10/1 ~ 2012/9/30

- EXP工法
- 管内計測器

建設技術展2012近畿

マイドームおおさか
2012/10/31 ~ 2012/11/1

- エコスムージー R
- IH式舗装撤去工法
- 涼畳
- Fi-mix工法

EE東北'12 夢メッセみやぎ

2012/10/24 ~ 2012/10/25

- IH式舗装撤去工法
- 涼畳

ハイウェイテクノフェア2012

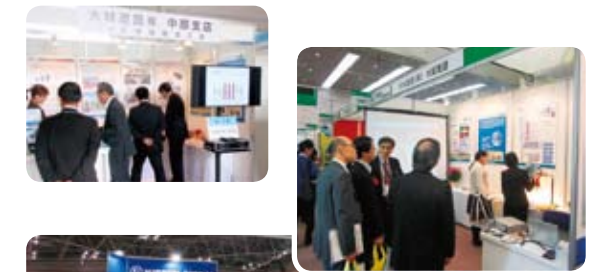
東京ビックサイト西4ホール
2012/11/15 ~ 2012/11/16

- エコスムージー R
- 小型コンクリートフィニッシャー

建設技術フェア2012 in中部

中部技術事務所内
2012/10/25 ~ 2012/10/26

- IH式舗装撤去工法



イスカンダル工法

新たな土壌環境改善システム工法のリーフレット

「イスカンダル工法」は大林道路の土壌環境改善システムの新しい工法です。土壌環境改善方法は大きく「掘削除去」、「原位置浄化」、「原位置不溶化」に分かれますが、「イスカンダル工法」はこのうち「原位置浄化」の1つで、現場で汚染土を洗浄する工法です。

特長

- 産業廃棄物処理量が従来工法より1/6から1/10に圧縮できます。
- 処理土の95%程度を利用することができます。
- 従来あきらめていた粘土質の多い土も対応可能です。
- 出入りする車両も減少するため周辺環境にも優しいです。

よりよい新しい技術をリーフレットとして作成し、情報提供しています。



地域社会と共に歩み

地域住民との良好な関係の構築

各種活動で地域に貢献します

大林道路は、良き企業市民として社会文化の発展に寄与していきます。

●中国支店

山陽自動車道 岡山管内舗装補修工事

平成23年7月5日に備前IC～和気IC間で単独の交通事故に伴う車両火災が発生しました。早期に交通開放するために、その事故復旧に協力しました。

各工区の施工前や施工中に、清掃活動を実施。特に、SA・PAの施工の際は、こまめに清掃を実施し、お客様に不快感を持たれないように配慮しました。



平成23年度岡山東部保守工事

伐採・倒木処理などにより発生した雑木類をチップ化し有効利用すべく、農業用肥料転化を図っていたところ、カブトムシの幼虫を多数発見。地元小学校の要望もあり平成20年度より寄贈を開始しています。これらの活動により地域とのつながりが強化され保守工事に対する理解が深まることを期待しています。



●九州支店

北部アスファルト混合所にて職場体験学習

九州支店北部アスファルト混合所にて2日間、地元の基山町立基山中学校から職場体験学習として中学2年生の男子生徒2名を受け入れました。



●大阪支店

国道2号須磨鷹取電線共同溝工事

沿道で、雑草等が生い茂った植栽帯にて、剪定や清掃などを実施し、地域の美化に努めました。また、右折レーンにて、雑草が育ちすぎて交通の支障となる恐れがあるため、雑草の刈り込みを行いました。



●四国支店

平成24年度 天神地区外舗装工事

現場事務所周辺の県道を毎週月曜日に清掃し、地域の美化に協力しました。

川内小学校に通う学童の通学路にある横断歩道部で歩行者の誘導を行いました。



●北信越支店

伏木富山港(新湊地区)道路(東西線)舗装工事(その1)

地元、堀岡地区のイベント「堀岡ふれあい七夕・行灯カーニバル」に協賛し、売店コーナーとして出品。普段、関連事業の工事で協力していただいている地元の皆様とふれあい、コミュニケーションがとれました。



●中部支店

平成23年度紀勢線紀伊長島トンネル舗装工事

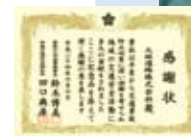
地域住民とのコミュニケーションとして、地元の水路清掃活動に参加しました。工場現場より重機を搬入し、地元の方々と協力して清掃を行いました。



●本店

交差点の交通誘導を実施

本店のある東京都墨田区内白鬚橋東詰交差点において、春・秋の交通安全運動の期間中、勤務開始時間まで歩行者の誘導を行いました。



●北海道支店

北区南地区道路維持除雪作業

交通渋滞緩和のため、夜間に重機を使い、約150kmの道路を朝の通勤ラッシュまでに間に合うように除雪しました。降雪のない日は、路面整正・拡幅・排雪運搬・凍結路面対策などの作業を実施する他、12月～3月まで24時間体制で市民のみなさんからの要望・苦情を受ける除雪センターも開設して対応しました。



●東北支店

大船渡管内道路復旧その2工事

工事区間の施工範囲外の箇所においても、積極的に草刈り・側溝清掃等を行い、道路の美化に努めました。



現場巡視中に、スリップによる車両の横転事故が発生したため、関係機関に連絡し、救援が到着するまで交通誘導を行って二次災害防止に努めました。



●関東支店

常磐自動車道谷和原管内舗装災害復旧工事

つくば市で、行われる「まつりつくば」に協賛し、祭りに参加しました。



四ツ木地区安全施設改修他工事

現場に隣接している公共施設(側道、公園)を清掃。地域の方から度々声をかけていただいた際に、工事概要を説明することで工事への理解をいただくことができました。



地球環境への配慮

地球環境と調和した企業経営に取り組んでいます。

地球環境に対し、「大林道路はどのように貢献できるか」を常に考え、実践しています。

環境方針

私たちは地球や地域を汚染から守るため、環境経営に取り組めます

- 1 法律や倫理に対して誠実な対応を行い、社会から信頼される会社を目指します。
- 2 「もったいない」気持ちを大切に、資源の有効利用を目指します。
- 3 当社の環境技術を広め、住みたい街づくりに貢献します。

環境目標

原単位当たりのエネルギー使用量を前年度比1%以上削減する

監視測定結果

部門名	内訳(原油換算値)	2011年度	2012年度	構成比率	前年度比	寄与率	
オフィス部門	エネルギー使用量合計	—	851.8Kℓ	3.4%	—	2.7%	
	床面積1㎡あたりのエネルギー使用量	28.0ℓ /㎡	22.5ℓ /㎡	—	80.3%		
製造部門	エネルギー使用量合計	—	20,271.2Kℓ	81.6%	—	82.1%	
	製造1tあたりのエネルギー使用量	12.65ℓ /t	12.74ℓ /t	—	100.7%		
	再生骨材	エネルギー使用量合計	—	3,734.5Kℓ	15.0%	—	14.2%
		製造1tあたりのエネルギー使用量	2.77ℓ /t	2.61ℓ /t	—	94.2%	
部門計	エネルギー使用量合計	—	24,857.5Kℓ	100%	—	99.0% ^{※1}	

※1. オフィス部門と製造部門の異なる原単位の前年度比に構成比率を乗することにより算出した寄与率の合計で、2012年度は前年度比1%の削減となり、環境目標を達成しています。

環境対応への手段

2005年12月に全店で環境マネジメントシステム(ISO14001)を認証取得し運用しています。



現場審査状況



除染作業

福島第一原子力発電所の事故により放射線に汚染された地域環境を回復するための除染作業を行っています。



雨どい清掃

九州支店 熊本アスファルト混合所

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会 会長賞を受賞

九州支店 熊本アスファルト混合所は平成24年リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を受賞しました。

本表彰は発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)に取り組んで顕著な実績をあげた個人・団体等を対象としており、この度の受賞は熊本アスファルト混合所における建設廃棄物の再資源化、太陽光発電設備・LED照明・脱臭装置等の省エネルギー設備の導入および再生加熱アスファルト混合物の啓発活動等が高く評価されたものです。



九州支店 大分アスファルト混合所

再生固形燃料を使用した 燃焼装置の導入

大分アスファルト混合所のリサイクルプラントでは、廃プラスチックや紙・木材等を固めた再生固形燃料を使用して骨材を燃焼・乾燥させる装置を試験的に導入し、石油燃料の資源保護や燃費低減効果への貢献を行っています。今後は燃焼の際に発生した熱を他施設の熱源として再利用するなどの試みも含め、更なる環境保護に取り組んでいきます。



E-con (イーコン)

E-conは、リサイクル材を主原料とした環境に優しい新しいコンクリート舗装工法の名称です。

E-conの主原料はグリーン調達品目にも指定されている高炉スラグ(水砕砂、粉末)とコンクリート廃材を粉砕して再生した骨材です。限りある資源の節約に寄与し、CO₂排出量の削減にも有効である上、施工後に大気中のCO₂を吸着して硬化が進むという特性があり、温室効果ガス対策に適したエコロジーな舗装です。



人間尊重の経営を行います

安全衛生方針

基本的なルールを守り災害発生ゼロを目指します
(凡事徹底)

安全衛生方針

「自分は絶対に事故・災害は起こさない」という強い気持ちを持って、労働災害防止および安全衛生水準の向上に努める。

安全衛生スローガン

繰り返し型労働災害、公衆災害および交通事故の絶滅
～現場に即したリスクアセスメント活動の実施と徹底～

安全衛生目標

① 安全目標

- 公衆災害の防止
- 不安全状態・不安全行動による労働災害の防止
- 車両系建設機械および車両による労働災害の防止
- アスファルト混合所での事故・労働災害の防止
- 交通事故の防止

② 衛生目標

- 職業性疾病（特に熱中症）の防止
- 社員の健康状態の把握、異常所見者に対する保健指導の徹底
- 協力会社従業員の健康診断の徹底と健康状態の把握

安全ニュースの発行

事故・災害事例やその時々の安全に関する運動、熱中症対策など労働安全衛生に関する情報の発信、共有化を行っています。



安全大会

安全衛生方針、安全衛生目標および目標達成のための具体的実施事項をまとめた安全衛生計画を職員や協力業者に周知するとともに、安全意識高揚のため毎年6月に全店で安全大会を実施しています。



安全パトロール

災害を未然に防ぎ、職場の安全意識を向上させるため、計画的な安全パトロールはもちろん、随時、安全パトロールを実施し、安全衛生計画や現場独自の安全ルールの実施状況を確認しています。



安全運転意識の向上

重大な社会問題の一つである交通事故に対しては、日々の安全運転指導や運転者への注意喚起のためのシール、テレマティクスシステムの導入により安全運転意識の向上を図っています。



安全ステッカー

安全表彰

工事現場で推進した積極的な労働安全衛生管理の取り組みに対し、平成24年度は国土交通省をはじめ25件の表彰を受けました。

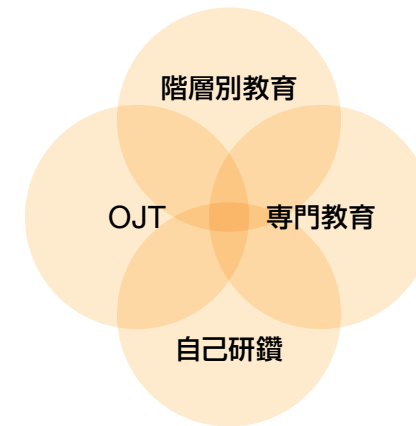


人材育成・人事制度

創造と挑戦の意欲に満ちあふれた人を育成します

人材育成

OJT、自己研鑽を基本に階層別教育や専門教育を実施し、個人の成長をサポートします



● 新入職員研修



社内規定、コンプライアンス研修のほか、ビジネスマナー、コミュニケーションといった社会人の基本を学びます

● 営業所長研修



最前線で指揮を執る営業所長の意識を高めます

インターンシップや職場見学を通じ、学生のキャリア形成をサポートします

● インターンシップ



● 職場見学



人事制度

働きやすい職場を目指して

育児・介護休職制度

婦人科健診受診料補助制度

リフレッシュ休暇制度

育児・介護短時間勤務制度

健康相談サービス

総労働時間の削減

看護・介護休暇制度

- 過去5年間の育児休暇の取得率は93.8%（女性のみ集計）。復職後は育児短時間勤務制度を利用し、育児と仕事の両立が可能です。

- 健康診断受診のほか、婦人科健診の受診料補助制度を導入しています。
- 社員とその家族が利用できる24時間電話対応可能な健康相談サービスを導入しています。

- 勤続10年・20年・30年を迎えた社員にリフレッシュ休暇の付与と旅行クーポン券を支給しています。
- 労使が一体となり、休日休暇取得及び1週間の総労働時間を削減することを奨励し、従業員の心とからだの健康を保持することを目指します。

大林道路の事業

大林道路の事業内容、工事事例、財務状況などを紹介します。

大林道路は、1933年の創立以来、道路建設を基軸とした長い歴史に培われた技術により、人々の生活に密着した道路を核に空港・港湾、通信情報施設・下水道、病院・学校、スポーツレジャー施設・公園、工業や商業の各種施設など社会インフラの整備や豊かな生活環境の実現に貢献していきます。

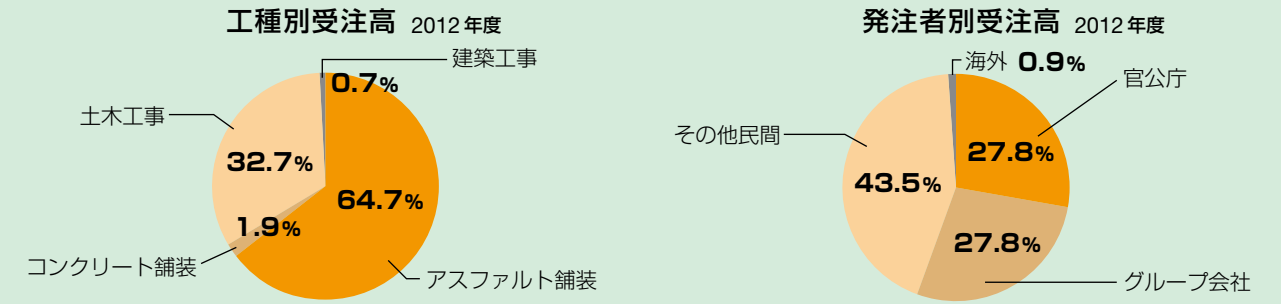
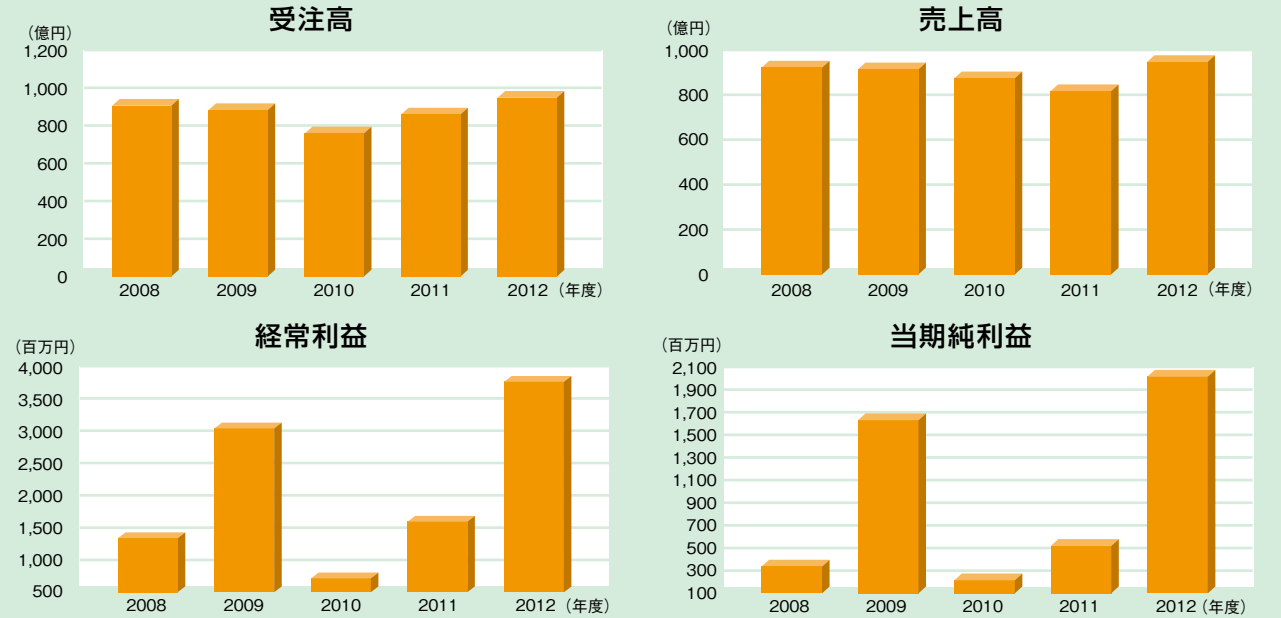
会社概要

- 商号 大林道路株式会社
OBAYASHI ROAD CORPORATION
- 本店所在地 〒131-8540
東京都墨田区堤通 1-19-9
リバーサイド隅田セントラルタワー 5F
Tel:03-3618-6500
- 代表 代表取締役社長 長谷川 仁
- 創立 1933 (昭和 8) 年 8 月 26 日
- 資本金 6,293 百万円 (平成 25 年 3 月 31 日現在)
- 従業員数 1,004 名 (平成 25 年 3 月 31 日現在)
平均年齢 42 歳
平均勤続年数 18 年
- 株式上場 東京証券取引所市場第一部
- 主な事業領域 1. 道路工事、舗装工事、造園、敷地造成工事、
上下水道工事その他の土木工事及び建築工事
2. アスファルト合材等の製造及び販売
3. アスファルト及び
コンクリート廃材の中間処理業務
- 建設業許可 国土交通大臣許可 (特 -24) 第 2523 号
- 建設コンサルタント登録 建 21 第 4207 号 道路部門
- 一級建築士事務所登録 大阪府知事登録 (二) 第 15214 号
- 宅地建物取引業許可 国土交通大臣 (6) 第 4206 号

事業所一覧

- 関東支店 〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 3-20
Tel 03-3296-6680
- 中国支店 〒730-0051
広島市中区大手町 4-1-1
Tel 082-243-1966
- 九州支店 〒812-0011
福岡市博多区博多駅前 3-2-1
Tel 092-432-0884
- 四国支店 〒760-0007
高松市中央町 11-11
Tel 087-833-3729
- 技術研究所 〒204-0011
東京都清瀬市下清戸 4-640
Tel 042-495-6800
- 機械センター 〒346-0035
埼玉県久喜市清久町 6-5
Tel 0480-23-6100
- 大阪支店 〒530-0047
大阪市北区西天満 1-2-5
Tel 06-6360-7110
- 北海道支店 〒060-0001
札幌市中央区北一条西 2-9
Tel 011-241-1828
- 東北支店 〒980-0014
仙台市青葉区本町 2-5-1
Tel 022-225-4437
- 北信越支店 〒950-0914
新潟市中央区紫竹山 1-5-6
Tel 025-243-6807
- 中部支店 〒460-0002
名古屋市中区丸の内 2-18-25
Tel 052-222-5161

財務状況



株主・投資家の皆様に対して

「利益配分に関する基本方針」

当社は、株主各位に対しまして安定的な配当を継続するとともに、財務体質の強化や将来に備えた研究開発、設備投資などを行うために内部留保の充実を図ることを基本方針といたしております。

「情報開示の適切な対応」

法令開示情報の遵守と適時・適切な情報開示に努めるため、四半期開示を行っております (詳細は、ホームページに掲載しております)。

「企業価値の向上」

当社は、企業価値の維持と向上のため、ISO9001とISO14001を取得しています。

主な竣工工事



京都縦貫自動車道 京都舗装工事



首都圏中央連絡自動車道 西久保 JCT ~ 寒川北 IC 間舗装工事



平成 24 年度 天神地区外舗装工事



徳島 (23 震災関連) 駐機場等整備工事



ABCハウジング千里住宅講演会場リニューアル工事



坂出ソーラーウェイ新設工事